



「占い蓮」会報

Vol. 8
冬号

2014 winter

<http://www.urandai-ren.co.jp> ・ ren@urandai-ren.co.jp

受賞祝賀会

2013年9月29日(日)

吉祥寺東急インにて当会会長 中村皓導先生の心霊学士国際認定証授与の受賞祝賀会、及び当社副社長、当会副本部長 紀村導佑先生、同じく佐々木皓咲先生、当会統括相談役、占い太陽代表 千導瑞妙先生の社会文化功労賞受賞の祝賀会が催されました。

また、当日は日本文化振興会 理事長出雲佐代子先生、常任理事局長 鬼塚修二先生より、当社代表取締役社長、当会本部長の竹原皓珠先生の世界婦人平和促進財団 副理事長就任の辞令が、及び、副理事長である竹原先生をお支える役目として、紀村導佑先生、佐々木皓咲先生の副理事長補就任の辞令の交付が御座いました。

諸先生方におかれましては誠にありがとうございます。心よりお祝いを申し上げますと共に、私達は世界にむけて活躍されるグローバルな視点をお持ちの素晴らしい先生方の下で自らを高めていけることを誇りに思います。

また、食事の際にはあの世界的に有名な新堀ギターによる生演奏もあり、祝宴の喜びが更に高まりました。

私は、今後も変わることなく皓導流一門の弟子の一人として日々研鑽を重ね 精進を積み努めてまいりたいと思います。

諸先生方におかれましては、これからも益々お忙しくなると思いますが、どうぞお身体をお大事に御自愛ください。すようお願い申し上げます。

また、株式会社蓮プランニング、関東現代易占学研究会の今後益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

安井秋皓



式年遷宮で賑わう伊勢神宮を巡って

2013年9月10日(火)、11日(水)

今年は、古来から神道を崇拝する日本人にとっては、大きな時代の節目を迎える年となりました。三重の伊勢神宮では20年に一度の式年遷宮、また、島根の出雲大社では60年に一度の大遷宮が重なり、普段、神道を意識していない方々にとっても、今年は伊勢が出雲いずれかには訪れようと思われたのではないのでしょうか。

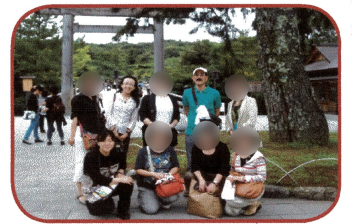
占い蓮に於いては、9月10日(火)、11日(水) 幹部の先生方と共に伊勢神宮を参拝する機会に恵まれました。10日の仕事の後に出発し、11日の朝を伊勢で迎えました。

私は2回目の伊勢神宮ではありましたが、今年は遷宮ということ、また、何より会長と共にということ、行く前に竹原皓珠先生によるアップグレード講座において神道の事を教えて頂いたので、ただの観光で行った以前とは全く違う感覚を得ることができました。

これも授業で学ばせていただいたことではありませんが、神道とは理屈ではなく「感じる」ものなのだそうです。神の像も経典もない中で、どれだけ感じる事ができるかがテーマなのとか。私はまだまだ詳しくはわかりませんが、もしかしたら明らかに以前と違うこの感覚がそうなのだと深く感じる事ができました。また、外宮、内宮の役割や意味も今回初めて知る事ができ、また、遷宮とは、他の国にはない文化ですが、これも「おもてなし」を大事に思う日本だからこそであること、神に対する最高で最大級のおもてなしが作り出した文化なのだという事を知ることができました。

この貴重な時期に連れて行っていただけたことを心から感謝申し上げますと共に、この度得た体験と知識をこれから活かせることを幸せに思います。

佐々木皓咲



伊勢神宮 (皇大神宮 内宮にて)

防衛省見学

2013年11月13日(水)

小春日和の穏やかな11月13日午前、私たち一行は防衛省見学へ行って参りました。

わが国の国防の中核である防衛省は、平成12年5月に六本木から市ヶ谷へ移転し、皇居(江戸城)の西北海拔31.4メートルに位置しています。私たちが参加した午前の見学コースは、各国の要人を迎える儀仗広場、市ヶ谷記念館、そして厚生棟でした。

見学場所のなかでも、東京裁判の行われた市ヶ谷記念館の大講堂は、天皇陛下御臨席ゆえの一点遠近法や一部盛り上がり等の床等、計算し尽された建築法が用いられており、目を疑うほどの距離感が造り出されていました。

又、天皇陛下の休憩所であった「便(びん)殿(でん)」の間の壁と扉、そして空調等にも数々の工夫が組み込まれており四季の寒暖に対応できるすばらしいものでした。

また、第二次世界大戦時の遺品の数々も多数陳列され、当時の悲哀を忍ばせていた他、1970年(昭和45年)三島由紀夫の立てこもり事件の刀傷も、柱に刻まれた状態で残っておりまして、どれも日常では触れることのできない場所で、2時間強の見学時間は瞬く間に過ぎて行きました。

どの場所も荘厳で、国家を担う力を兼ね備えていると同時に、その歴史には哀しい記憶が刻まれていることを、見学者に感じさせるものでした。

この度、ご参加下さいました皆様ありがとうございました。皆様のご協力のおかげで無事に楽しい時を過ごすことが出来ました。

心より感謝申し上げます。

中村祥皓



防衛省 市ヶ谷記念館にて

気学教師講座の実 体験ツアー―千葉編―

2013年7月

蓮では、皓導流を伝える
教師を目指すお弟子の
皆様のために、教師講座が開かれています。



中山法華経寺にて

よい導き手となるためには、机上学習だけでなく、知識と経験を血肉とせねばなりません。……とはいえ、楽しくなくては気は満ちぬというわけで、7月某日、気学教師講座受講生メンバーは、竹原皓珠先生の企画で（&先生にツアーガイドをしていただき）、千葉市にある竹原家ゆかりの墓地見学学習と、中山法華経寺のお膝もと、中山参道への詣でに出かけました。

御先祖を敬い、子孫繁栄のためにも大切なお墓。正しい知識に基づいて伝え、アドバイスできることが大切ですが、日常で様々なケースに接する機会はそうありません。ましてやお墓は亡くなった方の魂が眠る場所です。いくら大事な勉強のためとはいえ、他家のお墓を観察するといった、無礼で恨れを知らない罰あたりな行為は言語道断。そこで竹原先生のご厚意による提案で、竹原家ゆかりの霊園のお墓参りに同行させて頂き、少しでも他家のお墓も見学させて頂きたくという形となったのが、この企画でした。

企画実行に際して、会長より「お墓の研究に向く前にきちんとご上人の墓所を参るように」とのお達しをいただきましたので、皆で6月に池上本門寺のご上人墓所にお参りをさせて頂きました。池上の山はご上人が茶毘に付された場所とあって、大変感慨深いものがありました。

さらに失礼のないようにと、当日の流れや霊園配置は事前に確認・学習。もちろん感謝の気持ちを込めて一行の無事を祈り、当日は教室で学んだ「お墓の向きや方位」「墓石の種類や形状」「墓相吉凶」などを、謹んで（横目で）拝見させて頂きました。また、ひとつのケースとして、卒塔場供養の流れや作法、お墓や霊園に関わる方々とお付き合いの仕方、正式なお参りの作法等も、五感で勉強させて頂きました。多くの場合、そのときになって初めて意識するお墓事情ですが、授業で繰り返し教えていただく「臨終を想うて日々を生きよ」を改めて胸に刻みつつ、このような機会を得られたことに、一同感謝いっぱい霊園を後にしました。

午後は中山参道へ。駅前からすぐ参道で、日蓮宗大本山法華経寺の門前町として栄えた名残を感じる街並みでした。国宝重要文化財「五重の塔」「日蓮宗荒行堂」など鎌倉時代からの歴史に想いを馳せつつ、なかでも、江戸三大鬼子母神と名高い鬼子母神本院では、結界やザクロ形の家紋・欄干などその荘厳で密なる雰囲気、一同興味津々。蓮の仏壇にも居られる鬼子母神様ですが、日蓮大聖人ゆかりのこの地で出逢えたことに、一層の感慨を覚えたのでした。

まさに百聞は一見にしかず、実際に見て感じることの尊さ偉大さを感じつつ、身体に染み込ませたこの学びを、しっかりと伝える教師を目指し、感謝と充実感に満ちた気学教室講座メンバーの面々。

時間を忘れて充実し、気がつけば、歩いた歩数約1万歩！共に学ぶ者同士、笑ったり感心したり、甘味を味わったりした楽しい実体験ツアーでした。

石川敬皓

竹原皓珠先生、紀村導佑先生よりホノルルの話を伺いました

国際宗教学博士の竹原皓珠先生、人類心理学博士の紀村導佑先生、両博士の先生方が、



オアフ島

去る6月24日（月）〜28日（金）まで、ホノルル大学より招待を受け、研修に行かれました。両博士の先生方に置かれましては、限られた日数の中で有意義に研修を終えられたと伺いましたが、それ以外の中で興味深いお話がありましたので、ここで紹介させていただきます。

オアフ島の「へその緒」といわれる場所にはバーストーンという聖なる場所があり、パワースポットとして知られているそうです。ここは昔ハワイ王族のお産場所、かつては一般の人が入るだけで処刑をされたような禁足地的な場所だったとのこと。

そこへ向かう道すがらには左右18個づつの石があり、そこに36人の選ばれし者が座り、妊婦である王妃の検査、診査をしました。（たぶん占いをしたと思います。）

また、王妃の出産は公開出産でした。（王位継承者になるゆえ。マリーアントワネットも同様）いよいよ子供が誕生し、その子が神に認められると辺りには風が吹き木々がうなるような自然現象がおきたそうです。

この土地の呼び名「マナ」という言葉には「神がもつ力」などを意味し、神聖な言葉とのこと。

両先生方はこの地を訪れ、ハワイは初めてではなかったものの、新たな魅力を知ったと、また「18」などの数字にも運命的なつながりを感じたと話されていました。竹原先生、紀村先生、



バースストーン

お疲れ様でございました。また、興味深いお話をお聞かせいただき、どうもありがとうございました。

関東現代易占学研究会 中野支部 占い庵

「占い庵」は、会長始め本部の先生方の多大なご支援ご鞭撻のもと、H25年9月に、綾部皓庵、石川敬皓、安井秋皓、上北礼芙の四人で、中野ブロードウェイ内に開店いたしました。



占い庵にて

その節は、支部の先生方からも沢山のアドバイス頂くことができ、皆様には心から感謝しております。

早いもので当店もお蔭様で4ヶ月が過ぎましたが、中野ブロードウェイといえば、競合店の多いことで知られており、私たちは共に気合を入れて挑みました。今改めて思うのは、ビジネスにおいては、地域の商店会の皆様、同業者の皆様、ご近所のご理解とご協力が大事ということはもちろん、何よりも新鮮な情報をいただいたり、互いに協力しあえる関係であることはこの上なくありがたいことと感謝の思いでいっぱいです。そして開店して何より嬉しいことはリピーターとしてお客様に再度お越しただけることであり、リピーターのお客様がまた、お客様をお連れ下さり、お客様の輪が何重にも広がっていくことは、何よりの喜びということ。は言ってもありません。

私たちは一人でも多くのお客様の心に灯りを灯せていることをモットーにしており、会長、本部の先生方の願いでもある、人々を救える正しい導き手となることとして、四人が四葉のクローバーのごとく沢山の方に愛される鑑定師、伝導者でありたいと心から願っております。

そのためにも、これからも更に学びを深め日々精進してまいります。

皆さま、中野ブロードウェイのお近くにお越しの際はぜひ「占い庵」にお立ち寄りくださいませ。鑑定師一同お待ちしております。

占い庵代表・中野支部長 綾部皓庵

《編集部より》

(株) 蓮プランニング 編集部 編集長 宮田 皓昇

★ 告知してほしい内容などある場合は、発行予定日2ヶ月前までにご連絡下さい。

★ お弟子の皆さまへ・・・HP掲載の写真やプロフィールに関して・・・スキルにあわせて変更したい場合は随時お申し出下さい。